

第25期第1回常任理事会議事録

日時 昭和63年9月16日(金) 13:30~17:10

場所 気象庁海洋気象部会議室

出席者 浅井, 竹内, 河村, 岡村, 村上, 中村, 能登,
木田, 安田, 古賀, 村松

議事

A. 報告事項

1. 第24期・25期新旧理事・監事合同会議議事録は一部修正のうえ確認された。
2. 第25期第1回理事会議事録は一部修正のうえ確認された。
3. 各委員会報告

「庶務」

資料に基づき報告があった。主なものは次の通り。

- ア 各支部の役員選挙状況報告
- イ 第25期役員選挙における選挙管理委員会からの「提案」については、理事会及び事務局での検討結果を選挙管理委員会に報告した。
これは選挙管理委員会及び事務局で保管し次期選挙に利用することとする。
- ウ 昭和64年秋の沖縄大会の日程が11月7日—9日に決まった。
- エ 外国会員関係の事務処理のため、パソコン用タイプライタを購入した。

「会計」

64年度予算案・事業計画案を、各委員会は9月30日までに事務局宛提出することとした。

「気象集誌」

受理論文、要報の掲載順序について、従来の内容順(理論, 解析, 観測)から改訂稿到着順に改める。
到着日が同じものは投稿順に掲載する。

「天気」

9月, 10月号の予定が示された。新しい投稿規定と、アンケートのはがきを10月号に入れる。

「教育と普及」

- ア 第22回夏季大学はだいたい例年程度の実績で終了した。
- イ 今期委員会では夏季大学, 気象談話室のあり方を整理して行きたい。

「講演企画」

ア 秋季大会の講演申し込みは247件に達した。ポスターセッションは10件に減少。スペシャルセッションは申し込み件数が多く, 1日かけて行う。

イ 会場名を従来の1, 2, 3からA, B, Cに変更し, 講演番号から発表日時が分かるようにした。

ウ 記念講演は次の通り。

学会賞	時岡 達志 会員
山本賞	矢野 順一 会員
堀内基金奨励賞	阿部 豊 会員
	深尾昌一郎 会員

エ 8月19日に委員会を行った。

主として研究集会のあり方について, 発表時間が不足である, 予稿集の充実, スペシャルセッションの強化, 春季大会と秋季大会の性格づけ等について検討が行われた。秋の理事会でも意見を聞きたい。

「奨励金」

奨励金受領候補者の報告があった。規定に従って選定理由を付けて全理事の投票を行うことになった。なお, 受領者が「天気」に投稿を希望すれば掲載することになった。

「国際学術交流」

8月31日現在の外部団体からの募金の状況について報告があった。

「その他」

- ア 第14期気象学研究連絡委員会の新委員について理事長より報告があった。
- イ ICSU(国際学術連合会議)の南アフリカ科学者の入国ビザ問題についてが紹介された。

B. 審議事項

「庶務」

ア 事務局員の交替時期について
交替期の業務を円滑にするため前任者は総会まで(2カ月程度)アルバイトとして残り, この間に引継を行う事が承認された。

イ 請求書の印刷

前納会費などの請求の明細をデータベースから払込通知表に記入できるよう形式を改めること, また, その印刷費用が承認された。

「会計」

- ア 62年度監査報告に基づく基金の安定運用についての勧告に沿って、基金の一部を「株式型投資信託」から「国債型投資信託」に切り換えることについての提案が承認された。
- イ 「天気」の一般投稿（論文）について、投稿規定に投稿料を明示するよう「天気」編集委員会と協議することになった。
- ウ 外国人会員の会費、及び外国在住の通常会員の取扱について、庶務、会計担当理事で検討して行くこととなった。
- エ Papers in Meteorology and Geophysics については印刷部数を減らした上で継続することとなった。
- オ 気象庁内の書店で、学会の刊行物を販売してもらうことになった。

「気象集誌」

- ア 仕様変更について
- * 1989年2月号から印刷仕様を次のように改める。
 - ・印刷の種類 活版印刷を電子印刷に改める。
 - ・規格 B列5判, 9ポ横2段刷を
A列4判, 10ポ横2段刷に改める。
 - ・写真製版 活版写真及び凸版を

レーザ出力機による版下に改める。

- ・表紙のデザインを新しくする。
- イ 学会員以外の投稿の取扱について
 - * 投稿規定中「気象集誌は会員の寄稿による論文、要報をのせる」を会員のつぎに「および会員外の」を挿入する。
 - * ページ・チャージ規定に「会員外からの寄稿に対しては、一律に1印刷ページ500円の割増しページ・チャージを課する」を追加する。

「委員会」

第25期の各委員会の委員名簿が提出され承認された。

「会員の新規加入」

新規加入は、個人会員17名、退会1名が承認された。

「第2回理事会の議題」

- ア 理事長挨拶
- イ 各委員会報告
- ・気象集誌の印刷方式等について
 - ・大会における研究集会のあり方について
 - ・第14期気象学研究連絡委員会の委員について
 - ・国際学術交流基金の募金状況について
- ウ 昭和64年度の事業計画案・予算案について
- エ 藤原賞の規定変更について

編集後記：気象学の気象学・地球環境学への発展に伴い、学会員の興味や関心が多様なものとなってきています。そのような状況に対応するべく「天気」は情報誌としての側面を強化してきました。しかし、情報面を強化すると、情報にふりまわされる、ということにもなり

かねません。今後はもう少し、論文を増やしてゆく方向に努力してゆく必要を感じています。少しゆっくりして、論文の一つでも書いてみることも、秋の夜長にはふさわしいと思いますので…………… (A. S.)